

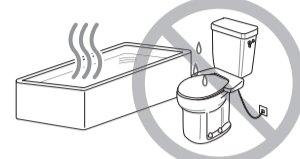
**工事をされる方へ**

工事を始める前に、この「工事説明書」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。  
工事完了後、この「工事説明書」は「取扱説明書」と一緒に必ずお客様にお渡しください。

**警告**

**!** 工事や移動は、それぞれ専門業者が行う  
専門業者 施工不備があると感電・漏電や火災、事故などのおそれがあります。

**!** 浴室など湿気の多い場所に設置しない  
浴室等、湿度が高く水がかかる場所には設置しないでください。  
火災や感電のおそれがあります。



**注意**

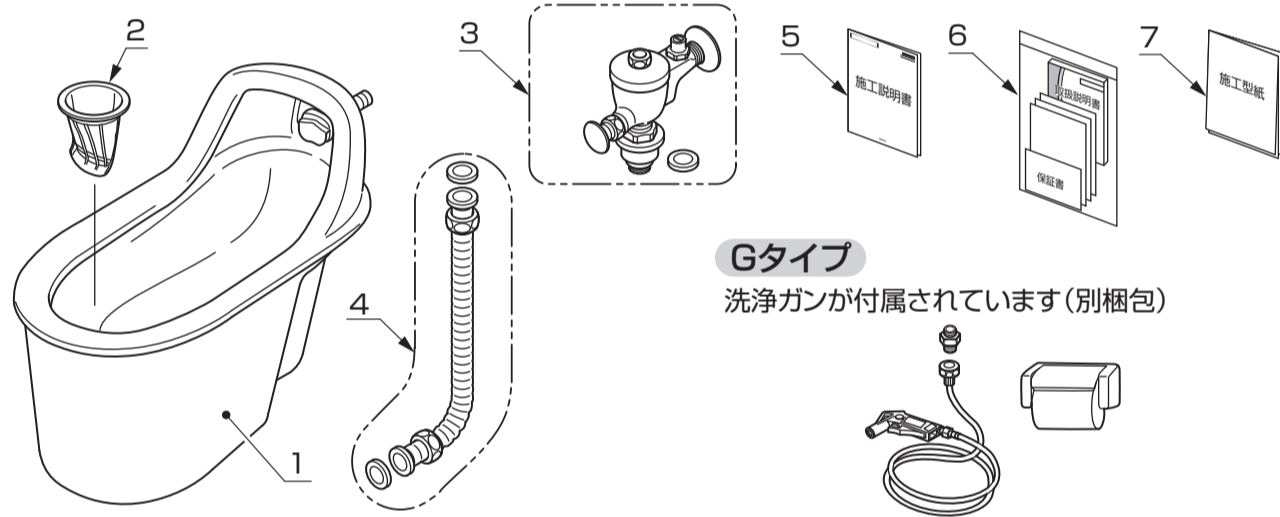
**!** 必ず便槽に接続すること  
このトイレは必ず便槽に接続してください。  
また、便槽の要領は500リットル以上のものをお使いください。  
※4人家族を標準とした場合、500リットル未満だと汲み取り周期が1カ月未満になることがあります。

**!** 凍結予防を必ず行う  
凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行ってください。

**1 開梱**

■施工する前に梱包を開いて、次の部品があることを確認してください。

**例：ATJ-309**

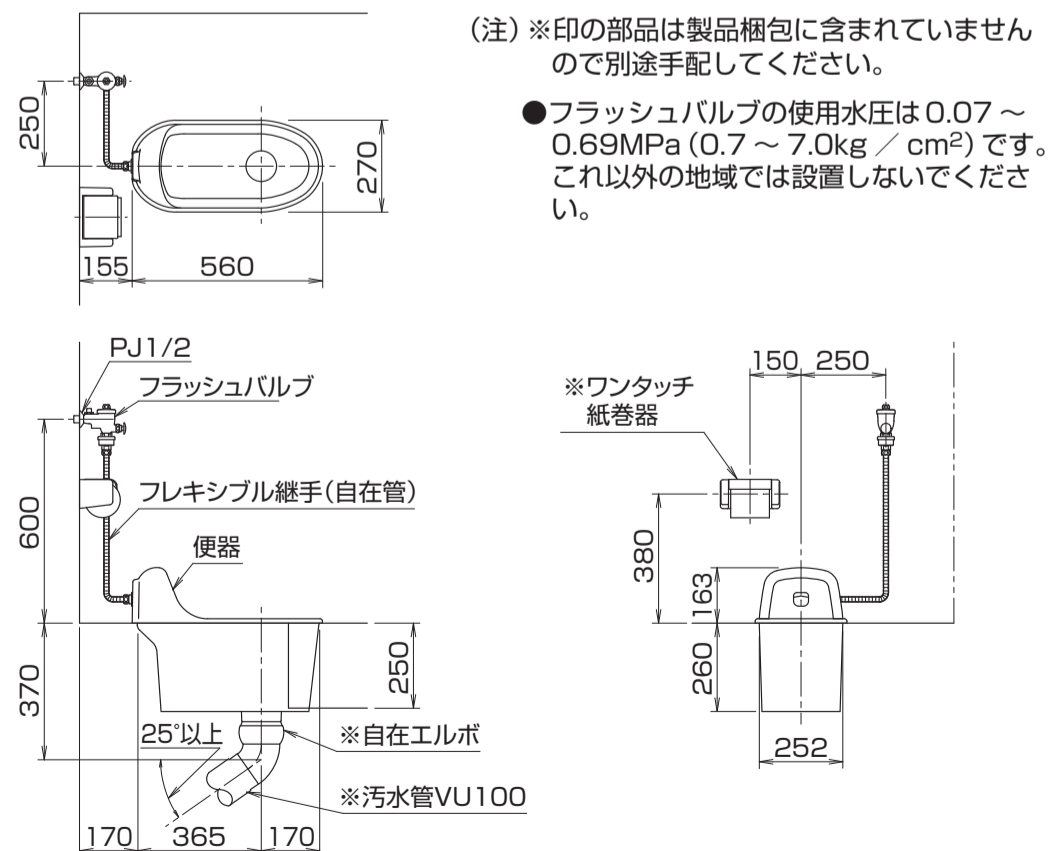


**Gタイプ**  
洗浄ガンが付属されています(別梱包)

番号	名称	個数
1	便器本体	1
2	パンタロン	1
3	フラッシュバルブ(パッキン付き)	1
4	フレキシブル継手(自在管)セット	1
5	施工説明書	1
6	取扱説明書セット	1
	取扱説明書	1
	保証書	1
	お客様登録用紙	1
	点検・修理申込書	1
	お問い合わせ窓口のご案内	1
7	施工型紙	1

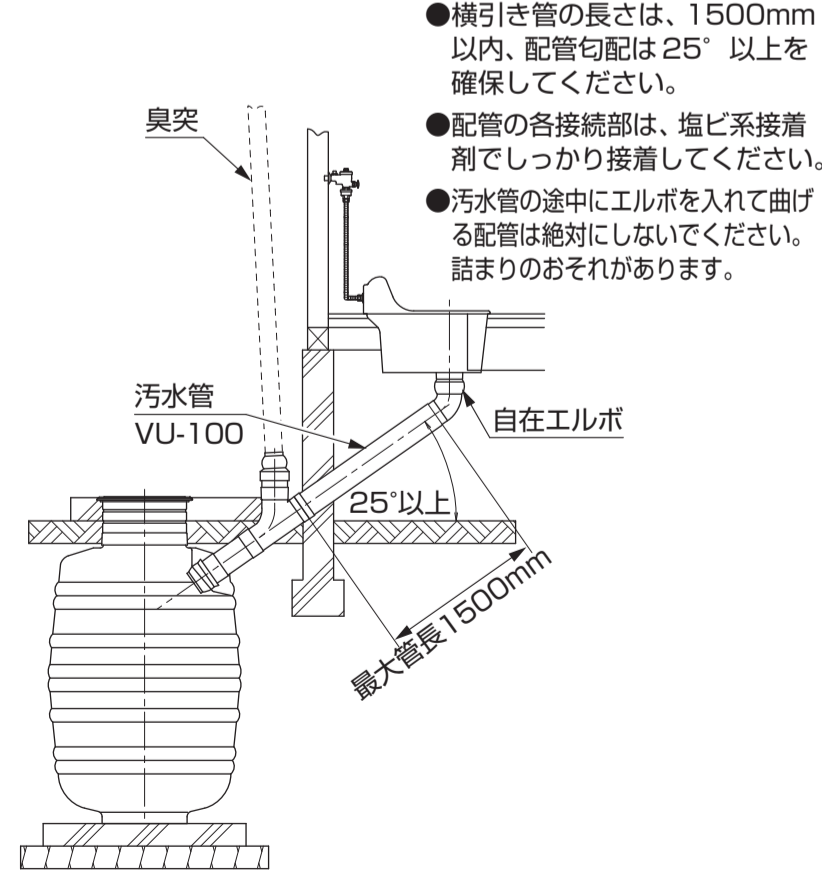
**2 施工図**

**施工寸法図**



(注) ※印の部品は製品梱包に含まれていませんので別途手配してください。  
●フラッシュバルブの使用水圧は0.07～0.69MPa(0.7～7.0kg/cm<sup>2</sup>)です。これ以外の地域では設置しないでください。

**配管要領図**



●横引き管の長さは、1500mm以内、配管勾配は25°以上を確保してください。  
●配管の各接続部は、塩ビ系接着剤でしっかり接着してください。  
●汚水管の途中にエルボを入れて曲げる配管は絶対にしないでください。詰まりのおそれがあります。

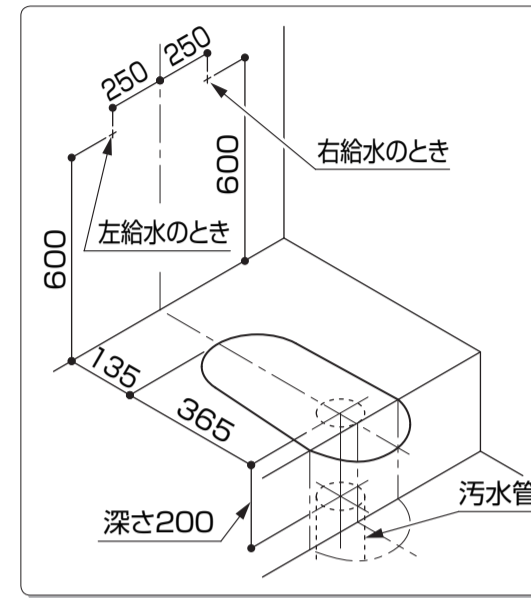
**3 施工手順**

**警告**

**!** 工事や移動は、それぞれ専門業者が行ってください  
専門業者 施工不備があると感電・漏電や火災、事故などのおそれがあります。

**(1) 便器据え付け位置**

① 製品施工前に給水配管を準備してください。  
② 施工型紙を使用して、床に便器を入れる穴を開けてください。型紙は小さめの寸法になっています。



**お知らせ**

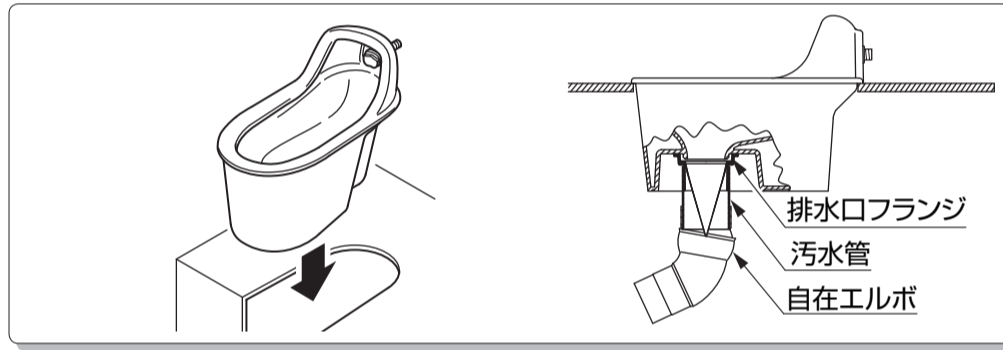
- 凍結予防などをする場合は電源コンセントを設置してください。
- フレキシブル継手(自在管)の長さは700mmです。

**(2) 便器の据え付け・汚水管との接続**

① パンタロンを取り付ける前にパンタロンの先端のセロテープをはがしてください。  
② 加工した穴に、便器を入れます。

**お願い**

- 便器に当たるところは追加加工し、無理に押し込まないでください。
- 前後・左右ともに水平になるように注意してください。



③ 横引き配管の場合は、排出口フランジと自在エルボを汚水管パイプ(長さ60mm以上)を使って接続してください。

**お願い**

- 配管の各接合部は、塩ビ系接着剤でしっかり接着してください。

**(3) 洗浄ガンの取り付け** 洗浄ガン付き(Gタイプ)

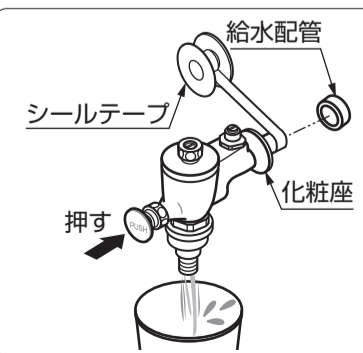
■洗浄ガン付き(Gタイプ)の場合は、フラッシュバルブを壁に取り付ける前に洗浄ガンを取り付けてください。  
詳しくは洗浄ガンの取付説明書を参照してください。

① バキュームブレーカーとストレーナを外します。  
② ストレーナ網を外し、接続ニップルに取り付けます。  
※ストレーナキャップは、保管しておいてください。  
③ ストレーナ取り付け部に接続ニップルを取り付けます。  
④ 接続ニップルに洗浄ガン袋ナットを接続します。  
⑤ ①で外したバキュームブレーカーを取り付けます。



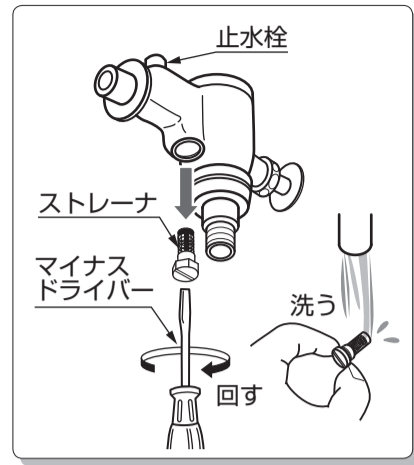
**(4) 給水器具の取り付け**

① 化粧座をフラッシュバルブのねじの根元まで回し込みます。  
② フラッシュバルブのねじにシールテープを巻き、給水配管にねじ込みます。  
※緩みのないようにしっかりねじ込んでください。  
③ 化粧座を壁側に戻します。  
④ 押しボタンを押して、図のように水が出ることを確認し、接続部に水漏れがないことを確認します。



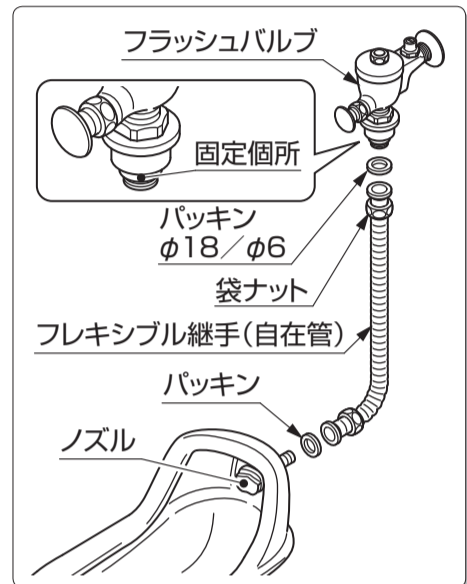
**(5) ストレーナの掃除**

① 止水栓を閉めます。  
② マイナスドライバーを回して、ストレーナを取り出します。  
③ ストレーナを水洗いし、ごみを取り除きます。  
④ ストレーナを元の位置に取り付け、止水栓を開けます。



**(6) 配管接続**

① フラッシュバルブにフレキシブル継手(自在管)を接続します。  
※フレキシブル継手(自在管)に同梱のφ18/φ6パッキンを入れてください。  
※バキュームブレーカーのねじ部をスパナなどで固定して、フレキシブル継手(自在管)の袋ナットを締めつけてください。締めすぎると、バキュームブレーカー内部の樹脂部が破損するおそれがあります。  
② フレキシブル継手(自在管)のもう一方を便器後側のノズル接続部に接続します。  
※フレキシブル継手(自在管)に同梱のφ18/φ6パッキンを入れてください。  
③ 押しボタンを押して、接続部に水漏れがないことを確認します。



**お願い**

- 寒冷地では、室内暖房などの凍結予防を別途実施してください。

**(7) フラッシュバルブの調節**

■配管作業が終わったら、次の手順で止水栓と排水量調節弁の調節をしてください。

① 止水栓を全開にしてから、半回転閉めます(右に回します)。  
② 排水量調節弁を全閉します(右に回します)。  
③ 押しボタンを押して、すぐに離します。このとき、便器内の洗浄状態を確認します。  
※押しボタンを押し続けている間、水は出続けます。離れたあと定量排水し、止まります。  
④ 洗浄状態を確認しながら、止水栓で水の勢いを調節します。  
水の噴き出しが弱い → 止水栓を少しずつ開ける  
水の噴き出しが強い → 止水栓を少しずつ閉める  
水の勢いが強いときは、右図のように手前で落ちることがあります。  
⑤ 排水量調節弁で水の量を調節します。  
※水が便器内全面にいきわたる前に止まってしまう場合は、排水量調節弁を開けてください。  
※便器の排出部に丸めたトイレペーパーを置いて、確実に排出できるように調節してください。  
押しボタンを押してすぐに離れたときにトイレペーパーを排出できない → 排水量調節弁を開ける  
トイレペーパーを排出したあと水が流れ続ける → 排水量調節弁を閉める  
⑥ ④⑤を繰り返して、適正な状態に調節してください。



**4 施工後の点検項目**

■以下の手順で、給水・排水ができることを確認してください。  
また、通水試験を行い、水漏れがないことを確認してください。  
■工事が完了したら、お客様と一緒に必ず試運転をしてください。

**(1) 通水試験**

■便器の排出口より約10リットルの水を流し、汚水管各部の接続箇所から水漏れがないことを確認してください。  
■フラッシュバルブの各部、配管各部の接続箇所から水漏れがないことを確認してください。

**(2) 試運転**

■フラッシュバルブの押しボタンを押して、洗浄・止水が正常に動作することを確認してください。  
■洗浄状態が正常であることを確認してください。